

予算決算福祉文教小委員会審査報告書

令和4年9月20日

予算決算常任委員会委員長 瀧野良枝様

福祉文教小委員会委員長 伊藤まゆみ

本小委員会に付託された事件についての審査内容及び経過、意見等を次のとおり報告します。

事件の番号	付託内容
議案第47号	令和3年度飯綱町一般会計歳入歳出決算中 民生費、衛生費、 <u>労働費</u> （シルバー人材センター運営事業）、 教育費及び関係歳入について

当小委員会では、上記付託議案について、説明員から詳細な説明を受けながら活発な質疑を行い、審査を行いました。

次に主な質疑、意見について報告します。

■住民環境課

【民生費】

質 疑：国民健康保険事業への一般会計からの繰出金について、国・県支出金があるが、一般財源もある理由は。

回 答：保険基盤安定負担金への一般会計からの繰出金に対して、保険税軽減分は県が3/4、町が1/4、保険者支援分は国が1/2、県が1/4、町が1/4の割合で負担することになっている。一般会計から一旦全額を国保会計へ繰出し、国と県の負担金は一般会計に対して措置される。また、制度上、県と町が保険者であるため、国と県の負担分以外は一般財源での補填となる。

【衛生費】

質疑①：令和4年度版の分別ガイドブックの色がオレンジに黒字で非常に見えづらいが、このことで問合せ等があったか。また、どんな基準で色を選んだのか。

回答①：今のところ見えづらいといった意見は寄せられていない。ガイドブックは更新するごとに色を変えており、今回は目立つようにオレンジ色にした。処理場のごみ受入状況等も変わることがあり、それにあわせてガイドブックも更新していくので、次回の更新時には見えやすい色を検討していきたい。

質疑②：芋川地区で不法投棄が多いが、これは日向地区の急傾斜地のところか。また、回収するにも危険であるため、何か有効な手立て等は考えているか。

回答②：全てが日向地区ではないが、日向地区でも不法投棄はあった。危険な箇所については委託等も考えているが、基本的には職員が回収を行っている。また、不法投棄禁止看板を立てて対応をしているが、有効な手立てはないのが現状である。

質疑③：可燃ごみ最終処分場の候補地については、まだ検討している最中か。町で候補地を決めて報告しているのか。

回答③：前年度に地蔵久保地区の山林を候補地として長野広域連合に報告している。今年度、長野広域連合で現地調査を2回行った。最終的に候補地を決定するのは令和7年度の予定。地区の方、地権者の方には事業概要を説明し、候補地として報告することの了解を得ている。

質疑④：不法投棄禁止看板にはどんな内容が書かれているか。

回答④：不法投棄禁止と罰金について記載している。

質疑⑤：町内のゴルフ場で長野国際カントリークラブと定期協議がない理由は。また、これから実施する予定はあるのか。

回答⑤：長野京急カントリークラブも以前までは水質検査をしてなかったが、違法農薬を使用していた経過があったため、公害防止協定を結び検査を実施している。長野国際カントリークラブは、現段階でそのような問題が発生していないため、公害防止協定等もなく定期協議、水質検査等は行っていない。今後も水質検査を行う予定はない。

質疑⑥：ゴルフ場は除草剤を大量に使うことがあると言われているが、長野国際カントリークラブの周辺にため池があることから、池への影響を考えると何かしら水質検査を実施したほうがいいのではないか。

回答⑥：長野国際カントリークラブ周辺のため池はゴルフ場の調整池がほとんどであるため、ゴルフ場で水質検査をしていると思われる。

質疑⑦：霊仙寺湖で大腸菌が基準値超過したことについて、人体には害がなくても環境的には汚染されていることになるが、その点をどう考えているか。

回答⑦：環境上、大腸菌の数値は高いよりも低い方がよいので今後も検査を継続していく。

質疑⑧：大腸菌群は泥水や肥料でも反応するとの説明があったが、その理解で間違

いはないか。

回答⑧：間違いない。検査方法も以前と同様な方法で検出している。

質疑⑨：一般廃棄物処理一覧の古紙類回収業者が昨年度と変わっているが、理由は。

回答⑨：見積入札により業者を決定している。

■保健福祉課

【民生費】

質疑①：結婚相談所運営事業委託に200万円を支出しているが、もっと実績を上げてほしい。また、成婚した際の結婚祝い金等はあるのか

回答①：委託料の内訳は賃借料と人件費が占めている。現在は県のマッチングアプリを推進しており、今年に入り2人が成婚、2人がお付き合いを継続させている。結婚祝い金は支給してない。

質疑②：結婚相談所の専任相談員の人選基準は。

回答②：社協に委託しているが、自己研鑽等を行い専門的な知識がある女性の職員を配置している。

質疑③：低所得者世帯生活支援給付金の周知の拡大を行えなかった経緯は。

回答③：住民税非課税世帯等臨時特別給付金の支払い時期と重なったため。また、システムへのデータ登録事務等に時間を要したため。

質疑④：令和3年度低所得者世帯生活支援給付金未申請者への対応は。

回答④：現在も申請受付中である。

質疑⑤：年代別・等級別身体障害者数に知的障害者数は含まれているのか。

回答⑤：含まれていない。

質疑⑥：指定管理施設となっているデイサービスにAEDが未設置の理由は。

回答⑥：看護師が常駐しているため未設置となっているが、設置に向け社協と協議していく。

質疑⑦：介護資格費補助事業について、予算額106万円に対して決算額が24万8千円であるが、見込みより少なかった理由は。

回答⑦：活用促進として介護事業所には就業者や新規就職者用に補助要綱などの資料を配布して周知をしてきたが、1事業所からのみの申請であった。

質疑⑧：成年後見制度支援事業について、飯綱町社会福祉協議会による法人後見の準備業務委託で「社協定款の改定、受任ができるように職員体制等の整備」とあるが、社協でも成年後見人になれる職員が常駐するという解釈でよいか。

回答⑧：社会福祉協議会が法人として受任することとなる。事務体制を整えるため社会福祉士1人が専門的な研修等を受け、成年後見事務にあたる。

【衛生費】

質疑①：令和3年度の当町における自殺者数は2人とのことだが、居住地区、性別及び年齢層はどのようになっているか。

回答①：自殺者の公表は人数のみとし、プライバシーや個人情報の観点から個人の属性については差し控えるものとした。

質疑②：3歳児健診での眼科検査において精密検査となった者が9人とのことだが、要治療者はそのうち何人か。また、メディアに触れ始める年齢が低年齢化してきており、全国的に子どもが近視になる状況が増加しているものと考えられるが、それは当町でも同様か。

回答②：対象者9人のうち要治療3人（3人とも乱視の診断で眼鏡使用）、経過観察3人及び異常なし3人。低年齢のうちからメディアには触れすぎないようにとの注意事項を3歳児健診の際に保健師等から伝えている。なお、令和2年度に幼児視力検査機器を購入し、それにより計測している。

質疑③：こころの体温計運用事業のアクセス状況の表について、レベル4「ケア対象者」が39人となっている。自ら精神科心療内科にかかる方もいるだろうし、ひきこもりになり外部との接触を断っている方もいると考えられる。レベル4の方々に対し、どのような対応をしているか。

回答③：アクセス状況から個人の特定はできないが、相談があれば地区担当保健師がケアをしている。また、その中には町事業の心の健康相談につながるケースもある。

質疑④：アクセス状況の表において、レベル4の方々の人数は減少傾向である。減少したのは心の健康状態が回復したからだと解釈してもいいか。

回答④：アクセス件数が減少しただけであり、回復したとも言い切れない。心の体温計はインターネット上のサイトであり、すべてのアクセスが町民からのものとは限らない。

質疑⑤：精神障害者保健福祉手帳について、サービス内容や使用方法が変わることがあるか。

回答⑤：同手帳について、受けられるサービスに変更はなく、従前どおりである。内容に変更があれば周知する。

質疑⑥：近年、健診事業、大腸がん検診の精密検査受診率が60～70%台である。他のがんの精密検査受診率90%台と異なり受診率が低い原因をどのように考えているか。

回答⑥：大腸がん検診は便潜血を診るものであるため、特に痔を基礎疾患に持つ方は自己判断で受診をしないケースが多い。40歳以上の方々になると、大腸がんポリープがある、便潜血が多いなど、大変な状況にならないと精密検査を受けないことが多いためと考える。

質疑⑦：検診事業でクーポン券の利用件数が伸びてこない。利用件数を増やすためにどう取り組んでいるか。

回答⑦：子宮頸がんや乳がんについてはクーポン券を使うことにより町外医療機関で受診できる。クーポン適用の年齢が5歳刻みで毎年対象者が変更にな

るからなのか、利用件数が伸びない。特に子宮頸がん検診は、対象者が20～40歳代となっており、この年代の女性は働き盛りで、検診受診者が少ない状況にある。

質疑⑧：子宮頸がんや乳がん若年のうちに罹患すると死に直結するとの情報は、映画やテレビ等から、若い方々にも入っていると思うが、自分のこととして受け止められていない。何か効果的な周知の仕方を考案できないか。

回答⑧：広報紙掲載や行政防災無線放送のみでなく、町が行っているSNSでも発信するなど、若い方に届くPRをしていかなければならないと考える。

【労働費（シルバー人材センター運営事業）】

質疑なし

■教育委員会

【民生費】

□児童福祉費、保育園費、子育て支援センター費等

質疑①：きめ細かな切れ目のない子育て総合応援事業について、児童虐待対応状況で継続2件となっているが、今も虐待が継続しているということか。

回答①：この2件については、児童相談所等が入った支援が翌年度に続いているということで、虐待が続いているということではない。

意見①：児童相談所と行政の連携を密にさせていただきよう願う。

質疑②：いづなRPA女子育成プロジェクトの活動内容は。

回答②：セミナーの他、丸山フルーツ農園に協力していただき現地ヒアリングを実施した。

質疑③：3か年計画の二拠点移住コミュニティプロジェクトの交流先が、当初の団体から株ポラリスに変わった経過は。

回答③：当初は千葉県流山市の団体「まちみん」と交流していたが、業務形態等の違いから求めている関係づくりができず、規模の近い株ポラリスとの交流に切り替えたもの。

質疑④：保育園費について、保育園の給食に有機野菜を提供したとあるが、その回数。

回答④：K株式会社等から、ほうれん草など夏野菜9品目の有機野菜を納入いただき、各園23日、延べ69日給食の提供を行った。

質疑⑤：保育園にコーディネーターを配置したとあるが、具体的にどのような仕事を行ったのか。

回答⑤：保育園3園共通の職員として配置し、3園共通の事務や、就学相談、支援会議への出席、関係機関との連絡調整、保小接続等の業務を行った。

質疑⑥：長時間保育の今後の課題の中に保育士の確保が難しいとあるが、決算参考資料の児童福祉費南部保育園費で、当初2クラスに分けて保育を行う予定のところ、1クラスで保育を実施したとあるのは、保育士の確保の問題で

こういう形をとったということか。

回答⑥：南部保育園の件については、園児数の関係で1クラスでの対応が可能となったためである。

質疑⑦：先頃あった保育園送迎バス児童置き去り事故に関連して、飯綱町では児童の乗降確認・所在確認についてはどのように実施しているか。また、送迎バスの窓ガラスに視認性を妨げるスモークを貼ってないか。

回答⑦：スモークは貼っていない。児童の確認については、園バスに同乗する乗務員が名簿により乗車確認と降車の確認を行い、降車後はそれぞれの教室まで引率しクラス担任に引き渡している。担任は連絡のあった欠席者との確認を行い、連絡なく登園していない児童宅には電話等で保護者に確認を行っている。なお、今回の事故を受けて、各園へ児童の所在確認の徹底を指示すると共に、保護者にも所在確認のため欠席連絡を必ずするようにあらためて通知する予定にしている。

質疑⑧：人員確認について、園バスの運転手が車庫入れの際に点検をすれば、より安心ではないか。

回答⑧：運転手による点検についても実施している。

質疑⑨：ワークセンターの利用状況の登録証発行数が、昨年度と同数となっているが。

回答⑨：誤りである。登録証発行数が89人で平成29年からの延べ発行数が214人に訂正いただきたい。

【教育費】

□教育総務費、小学校管理費、中学校管理費等

質疑①：奨学資金貸付基金管理運営事業について、奨学資金の返済期間が最長42年との記載があるが、就職してから定年まで支払うということか。

回答①：奨学資金の返済額は月1万円の返済で、年間12万円が基本。通っている学校や卒業までの年数などにより、個々に借受金額が異なるため、個人の借受額を年間12万円の返済額で割った場合、最長で42年となる。ただし、可能な範囲でまとまった額を返済することは制度上問題ない。

質疑②：住宅ローンと違い信用保証協会等の裏付けがない貸付けになると思うが、もし借受者が亡くなられた場合、未収となるということか。

回答②：申請の際に保証人を定めているので、その保証人に返済してもらうことになる。

質疑③：英語検定料補助事業について、英語検定の受験者数は予算上どの位の人数を想定しているのか。

回答③：直近の受験者数を基に予算計上している。

□社会教育費、公民館費、生涯学習費、施設管理費、文化財費等

質疑①：社会体育活動育成費のスポーツ教室運営に関して、スポーツインストラク

ター等の専門家を呼んで指導をしてもらうことはできないのか。

回答①：人材がいれば可能だが、種目ごとに専門家を確保するのは難しい。

質疑②：いづなコネクト WEST で野菜作りに取り組む元プロサッカー選手等、人材を活用できるのではないか。

回答②：社会体育に完全地域移行になった際には、指導者として声がけしていきたい。

質疑③：社会体育一般管理費で牟礼・三水小体育館 AED の使用料及び賃借料が町民会館管理運営費にも計上されているが、これは何故か。

回答③：町民会館管理運営費の牟礼・三水小体育館 AED・マット・モップリースは記載誤りであり、正しくはコピー機・印刷機・マット・モップリース代となる。なお、支出額についての修正はない。

質疑④：施設利用実績表中、牟礼海洋センターの利用者数が2段書きなのは何故か。

回答④：正しくは上段の4,489人であり、下段の3,477人は誤記となる。

質疑⑤：スポーツ推進委員会費について、スポーツ推進委員を置く目的は。

回答⑤：前身は体育指導員で、町のスポーツ推進に係る企画・連絡調整が主な業務となる。具体的な活動としては球技大会などの各種大会運営を行っているが、3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止となる大会が多く、活動実績が少なかった。

質疑⑥：推進委員が報酬額に比してスポーツ推進という仕事を果たしているのか疑問。多くのイベントが基本的に参加者の無償ボランティアで開催している中で、推進委員が有償なのはおかしいのではないか。

回答⑥：スポーツ推進委員の有効活用について、スポーツ基本法等を踏まえて検討していきたい。

意見①：今後、スポーツ推進委員がどのように活動していくかの方向性を示して欲しい。また、推進員が行うべき活動とそうでない活動を明確にし、組織運営の在り方について改革を進めて欲しい。

質疑⑦：文化財保護費について、指定文化財の説明看板改修は計画的に実施されているのか。先頃、若宮城址の案内看板が取り壊されたようだが、その後の状況は。

回答⑦：看板改修については計画的に実施している。若宮城址案内看板については他の工事に伴い一時的に撤去したもので、現在再設置を進めている。

□学校給食共同調理場費

質疑：学校給食を作る時の電気代・水道代はどの事業から支出しているのか。

回答：調理場施設管理費から支出している。

令和3年度飯綱町一般会計歳入歳出決算のうち、当小委員会で審査した内容は以上のおりです。これらの決算認定について、反対の意見はありませんでした。